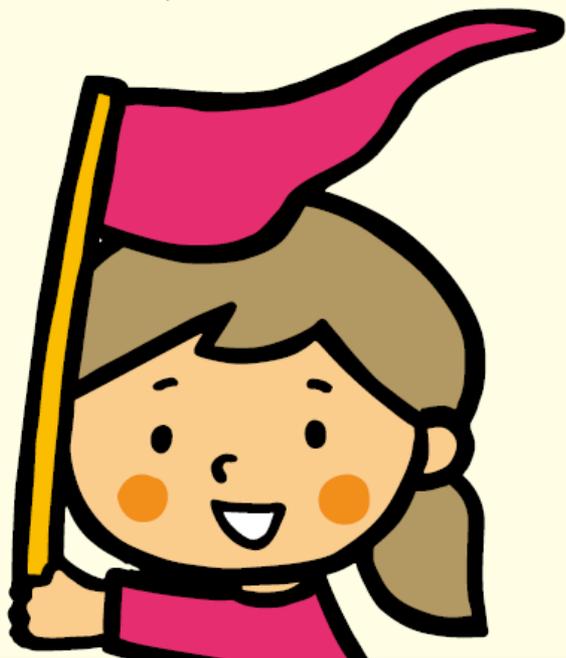


**東京大学大学院教育学研究科
発達保育実践政策学センター
公開シンポジウムに
ようこそお越し下さいました。**



すべての子どもたちが、
笑顔で成長していくために。
すべての家庭が安心して子育てでき、
育てる喜びを感じられるために。
「子ども・子育て支援新制度」が
スタートします。



Cedepは、
子ども・保護者・
保育者・社会の幸せ
を追究し、
保育・幼児教育の充
実と保育を通じた社
会のイノベーション
と文化を創造する
調査研究を行ってい
ます。

子L a b o Collaboration

子どものために集い探究し協働協創する

保育をめぐる社会の
課題解決にむけて
社会の多様な声を
聴き取り
豊かな子育て子育て
社会の実現の創造

あらゆる最先端の
学術の知を活かし
学術による分析検証
新たな学問の生成

知の協創



子どもに関わる産官学協創プラットフォーム

今を生き)、未来をつくる子どもたちを育む良質な環境・経験とはどのようなものか？

集う

子どもと親、保育者、
地域や企業の人々、
研究者が集い、
対話する

共に考え、創造する

CEDEP
保育・幼児教育
子育て支援施設

実践する
子どもにとって良質
な
活動を実践する

デザイン・ 開発する

子どもにとって良質
な環境・経験を
デザイン・開発する

地域



親

保育者

企業

研究
者

国
自治
体

研究・発信する
子どもにとって良質
な環境・経験につ
いて研究し、成果を
発信する

子どもをめぐっ
て人々が、
出会い、
対話し、育ち合
う場

子どもが
生き生きと
活動し
育つ場

良質な保育環
境・活動の開発・
実践・研究
の場

“子育て親塾” (株)日本共同システム

子育てと仕事の両立を応援します

冊紙2

働く親のための学びの場

子育て「親塾」

東京大学大学院教育学研究科教員の助産による、専門的知識に基づいた講座です。各テーマの助産講座を深堀り、保育所や幼稚園の園長経験者などの保育の専門家によるファシリテーションのもと、受講者参加型ワークショップをおこないます。

講座No	開催日	講座テーマ
—	2016年7月22日 (金)	子育て「親塾」オリエンテーション
第1回	2016年9月6日 (火)	「共働き世代の子育てと保育の質」
第2回	2016年10月19日 (水)	「親子関係の基本はアタッチメント(1)」
第3回	2016年10月26日 (水)	「親子関係の基本はアタッチメント(2)」
第4回	2016年11月16日 (水)	「胎児期から乳児期の脳発達」
第5回	2016年11月29日 (火)	「子どもと親とのつながり」
第6回	2016年12月21日 (水)	「子どもの社会性と感情の発達(1)」
第7回	2017年1月12日 (木)	「子どもの社会性と感情の発達(2)」
第8回	2017年1月23日 (月)	「睡眠と発達-寝る子は育つ-」
第9回	2017年2月2日 (木)	「子どもとともに関わろう(1)」
第10回	2017年2月8日 (水)	「子どもとともに関わろう(2)」
第11回	2017年3月8日 (水)	「子どもとともに関わろう(3)」

※「親塾」は通年講座ですので、原則として1回通してご参加ください。
※タイトルは順次変更となる場合がございます。

■開催時間
各回 18時30分～19時45分 (75分)

■場所
内幸町本部ビル または 大塚町本部ビル

■参加対象
・10歳以下の子育て奮闘する社員
・ブシママ、ブシパパ
・子育てで奮闘されている方

■参加方法
初回オリエンテーションで進捗調査の申込書を配布し、正式申込をいただきます。

■初回オリエンテーション申込方法
OCMPAS (一発/前発申請/再発申請書一発)「親塾」初回オリエンテーション申込より申込 (人事管理室の承認不要)

■初回オリエンテーション申込締め切り
2016年7月6日 (火)

■申込先
FGJ 01-1674-0000
01-1674-0000-3 総務課
中村 聡 氏 01000-263344
(外線 03-3224-2514)

【主催】株式会社 NKS 産科助産センター 子育て「親塾」事務局
【協力】東京大学大学院教育学研究科助産学専攻科助産学センター
【お問い合わせ】



全11回の主な講座内容

回数	講座テーマ	映像教員	主要内容
第1回	「共働き世代の子育てと保育の質」	秋田 喜代美 氏	子育てに必要な知識 保育の質が子どもの発達に及ぼす影響 生涯発達の鍵となるアタッチメント
第2回	「親子関係の基本はアタッチメント(1)」	進藤 利俊 氏	アタッチメントの二重の意味 基本的感情欲と自律性・たくましさ
第3回	「親子関係の基本はアタッチメント(2)」	進藤 利俊 氏	心の理解能力・共感性・思いやり 共感性・心の理解能力 アタッチメントは身体発達にも影響
第4回	「胎児期から乳児期の脳発達」	多賀 徹太郎 氏	胎児期から乳児期の脳発達に関する最新の科学的知見 科学的知見と現実の問題への応用
第5回	「子どもと親とのつながり」	秋田 喜代美 氏	読み聞かせの発達過程を知る 絵本が子どもの発達に与える影響を考える
第6回	「子どもの社会性と感情の発達(1)」	進藤 利俊 氏	社会性こそがヒトの最大の強み 確立する/させる子ども
第7回	「子どもの社会性と感情の発達(2)」	進藤 利俊 氏	感情は生後3年の間に育つ 人の気持ちの理解の芽生え
第8回	「睡眠と発達-寝る子は育つ-」	多賀 徹太郎 氏	睡眠リズムと乳児の発達 食、睡眠、遊びと睡眠の発達
第9回	「子どもとともに関わろう(1)」	進藤 利俊 氏	ヒトの赤ちゃんはとにかく「手が届く」 子育てをめぐる親達の葛藤性
第10回	「子どもとともに関わろう(2)」	進藤 利俊 氏	妊娠前から始まる親子の関係
第11回	「子どもとともに関わろう(3)」	進藤 利俊 氏	教育の質に関わる要素 父親と母親の関わり手の携え方

映像教員紹介



秋田 喜代美 氏

講師プロフィール (所属・専門分野など) をお知らせいたします。



進藤 利俊 氏

講師プロフィール (所属・専門分野など) をお知らせいたします。



多賀 徹太郎 氏

講師プロフィール (所属・専門分野など) をお知らせいたします。



写真：(株)日本共同システム
みずほフィナンシャル
グループ提供

長期縦断研究

- 0歳児の親子5,000組から開始して、18歳（高校卒業）に至るまで、成長を追跡して調査

※子どもの育ちの連続性の観点 親の育ちとワークライフバランスの関連

乳幼児(0～5歳)

東京大学大学院教育学研究科附属

発達保育実践政策学センター

The Center for Early Childhood Development, Education, and Policy Research



小学生・中学生・高校生(6～17歳)

東京大学社会科学研究所



東京大学Cedep × ベネッセ 共同研究

「乳幼児の生活と育ち」研究プロジェクト

乳幼児・保護者



今、日本の保育の真実を探る

～九万人の保育者と千七百カ所の自治体関係者の声を聴く～

大規模調査に際し、多くの保育者、園長、団体、自治体の皆様のご協力を得ましたことを心より感謝御礼申し上げます。そして本シンポが実りある時間となりますことを願っております。